

福井市自立支援協議会 課題提起シート

課題提起者名（所属） 相談ミーティング

課 題	<p>※「～が必要である。」という書き方にしてください。</p> <p>障がいがあっても、こどもが放課後に児童クラブ等の地域において安心して過ごすことができる体制が必要である。</p>
概要 及び 現状	<p>【概要】</p> <p>児童クラブ等において、障がい特性を理由にトラブルが絶えず、支援者は疲弊し、児童クラブ等での受け入れが困難になる。</p> <p>【現状】</p> <p>①放課後は毎日児童クラブを利用していたが、友達とのトラブルが絶えず、児童クラブでの受け入れが困難となり、2週間以内に放課後等デイサービスの利用調整をしてほしいという相談が地区委託にあった。</p> <p>②毎日トラブルが発生し、職員が全体的に支援に悩んでおり、トラブル報告を受けた保護者も困っていた。本児も児童クラブに行くことを拒否するようになり、放課後は自宅にて1人で過ごすようになった。</p>
改善 の方針	<p>児童クラブ等において、支援者が障がいのあるこどもの特性を理解し、福祉や学校と連携しながら受入れや支援ができる体制を整える。</p>
具 体的 な 取 組 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・こども育成課と、児童クラブ等での障がい児を受け入れる際の課題や必要な支援などについて協議を行う。 ・児童クラブ等のアドバイザーと児童発達支援センター職員の話し合いの場を設け、それぞれの役割の共有や整理を行い、連携しやすい体制を整える。 ・児童発達支援センターや保育所等訪問支援など、福祉の活用を児童クラブに周知することで、福祉との連携を強化する。 <p>（理由）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こども育成課と障がい児支援について協議を行い、福祉サービスが上手に活用される体制を構築する必要があるため。
期 待 さ れ る 効 果	<ul style="list-style-type: none"> ・児童クラブ等において、障がい児の受入れが進み、支援者も安心して支援することができる。 ・児童クラブ等において、支援者が困ったときにアドバイザーや児童発達支援センターと連携して対応ができ、受入れが困難となるケースが減る。